

2022(令和4)年度第1回伊賀市地域公共交通活性化再生協議会  
島ヶ原地域部会 議事概要

- 開催日時 2022(令和4)年5月17日(火)午後2時00分～午後3時30分
- 開催場所 島ヶ原会館 第2研修室
- 出席者 (敬称略)

【委員】

出席：松永 享二(島ヶ原地域まちづくり協議会会長)  
西口 馨(島ヶ原地域まちづくり協議会副会長)  
田中 利也(島ヶ原地域まちづくり協議会副会長)  
奥川 繁也(島ヶ原地域まちづくり協議会副会長)  
欠席：平田 久二(島ヶ原地域まちづくり協議会副会長)

【事務局】

交通政策課：課長 井上 忠生、主幹 坂森 莊平  
主査 稲森 紘子、主査 中川 達司  
八千代エンジニアリング株式会社：技術士 三上 和宏

- 傍聴者 4人

■会議概要

1. 開会 挨拶：交通政策課 井上 忠生課長
2. 部会長、副部会長の互選について  
(互選結果・敬称略)  
部会長 松永 享二(島ヶ原地域まちづくり協議会会長)  
副部会長 奥川 繁也(島ヶ原地域まちづくり協議会副会長)
3. 協議事項  
・新たな運行形態導入検討について  
事務局から資料1-1に基づき説明。  
委員から資料1-2に基づき意見を聴取。

【質疑応答】

事務局	①地域のみなさまの「外出手段」は、やはり車中心のスタイルでしょうか。またその場合、お年寄り等は、自分で運転、誰かの送迎・同乗等のどちらが多そうでしょうか。
部委員	島ヶ原地域では、地域交通網の確保のためプロジェクトチームを立ち上げ取組みを行っている。2021年9月に実施した住民アンケートの結果では、車で移動している方が大多数をしめており、お年寄りは自分で運転される方がほとんど。そして、運転免許も返納せず継続したいという方がほとんどで、運転免許を持っていない方も家族の送迎・同乗が多数となっている。

部委員	<p>外出の頻度については、毎日から週2・3回外出されている方が全体の75%以上を占める、週1回以上外出されているという方は全体の90%以上となっている。</p> <p>外出の目的については、買い物が一番多く、次に通院となっている。この2つが全体の7割程度、特に通院については、高齢になればなるほど比率が高くなっている。</p>
事務局	<p>アンケートの答えてくださった対象はどのような方でしょうか。なお、どれくらいの数で回収率はどのくらいでしょうか。</p>
部委員	<p>島ヶ原地域の全戸を対象に世帯の代表者に回答いただいております、世帯全体の総意ではなく回答者の思いで回答していただいております。全体で685戸、そのうち489戸の回答で、回収率は71%となっている。回答者の年齢の内訳は、75歳以上が178人、60歳以上から74歳が246人、45歳以上から59歳が47人、30歳以上から44歳が17人、29歳以下が1人となっている。ほとんどが60歳以上の方となっている。</p>
事務局	<p>回収率も高く凄いな、公共交通への関心が高い、役員の方々の熱意が感じられる。</p> <p>地域の方々は、バスがあっても車で誰かに送迎してもらっているのか。</p>
部委員	<p>そのとおり。廃止代替バスは、利用はゼロではないが定時運行になっていて、時間に制約があるうえに、上野市駅までしか行かず、そこからスーパーや病院の目的地に行くには他のバス等を利用する必要がある。昔は、JR経由で上野へ出ていたが今は車中心。そうすると好きな時間に、目的地までダイレクトに行くことができる車の選択肢になってしまう。</p>
事務局	<p>②バス等を利用する人は、どのような「タイプ」の方、あるいは、どのような「目的」の方が中心でしょうか。</p>
部委員	<p>バス利用者を把握して直接アンケートをしていないので詳しいことはわからないが、やはり車の免許を持っていない方だと思う。</p> <p>また、行政バスを、小・中学生のスクールバスのように使用させてもらっている。</p>
部委員	<p>島ヶ原は、8つの地区があり、山手の3つの地区には、行政バスが行かない。その3つの地区には西山経由の上野市駅行きの廃止代替バスが通っているが、時間がかかり、便数も少なくなかなか利用しにくい。行政バスが通っている私の住んでいる地区は、49戸の地区で、行政バスを利用しているのは1戸の障がいがある方、一人が利用しているのは把握している。</p> <p>車の免許を持っていない人は、家族や知り合いの方の送迎・同乗がほとんどのため、進んでバスを選ぶ人はいない。</p>

事務局	外出の目的地はどこが多いでしょうか。皆さんどこに行きたいと思っているのでしょうか。
部委員	行先アンケートでは、マックスバリュ、コメリ、アピタが多い。三重交通の廃止代替バスは、マックスバリュに行かない。岡波や市民病院といった大きな病院も多いが、個人病院や眼科等もある。
事務局	③バスが通っていても、「あまり利用されない理由」として、お気づきのこと、あるいは、お住いのみなさまから得られたご意見等があれば、お教えてください。
部委員	行政バスを利用しないという方から意見をいただいている。やはり自家用車を利用するからという意見が圧倒的に多いが、それ以外に、時間設定が悪いが14人、行きたいところへいけない3人、バス停が遠い3人、便数が少ない5人、帰り便がない2人、利便性が悪い11人、歩行が困難7人などとなっている。
事務局	④お住いのみなさまの「外出手段」に関し、「現在の困り事」、あるいは「近い将来の心配事」等について、地域で「話し合われたこと」がとおりでしょうか。あれば、話題になったことや、みなさまから得られたご意見等の概要をお教えてください。
部委員	アンケートで公共交通に関して自由に意見を記述いただき、全部で104件のかなり色々な意見をいただいた。 公共交通の重要性、運行提案に対する期待が23件、運行便数の意見・提案が9件、停留所、乗車下車方法等に関する意見・提案が11件、ダイヤに関する意見・提案が15件、バスルートに関する意見・提案が11件、バスの料金割引制度に関する意見・提案が8件、小・中学生、児童生徒、高校生に関する意見・提案が21件、デマンド型地域運行タクシー等の代案の提案16人、その他34件という内訳になっている。
事務局	⑤これまで地域で、現在の「バス等」、あるいは、これからの「移動支援サービス等」をどうすべきか、具体的に「話し合われたこと」がとおりでしょうか。または、すでに検討されている「移動支援サービス等」の取り組みがとおりでしょうか。あれば、概要をお教えてください。
部委員	プロジェクトチームで島ヶ原地域では3つの方式を考えた。 1つ目は、上野行きのバスで、今の行政バスを見直し「島ヶ原駅」、「支所」、「やぶっちゃ」、「小田のマックスバリュ」、「コメリ」、「上野市駅」に停まるような循環型のバス運行を考えている。 2つ目は、フルデマンド方式で、土日は家族がおり送迎してもらえるが平日は、家族がおらず車を自ら運転できないお年寄りを対象に、軽車両2台程度で原則は自宅から島ヶ原駅まで運行で範囲は島ヶ原地域内で考えている。

	3つ目は、スクールバスを充実させたいと考えている。
事務局	スクールバスの充実とはどういうことでしょうか。
部委員	<p>自宅から学校までの通学の距離が3km以上の地区である不見上と山菅区は、教育委員会の負担で、無料で行政バスに乗れている。児童生徒の安全性を考え、それ以外の地区についてもスクール対応を拡大するよう考えている。</p> <p>この3つの方式については、単純に役員だけで考えたのではなく、住民アンケートの結果や、先進地視察、交通事業者へのヒアリングを実施して決めた。</p>
事務局	⑥デマンド型の移動サービスは、お住いの地域に見合うと思われませんか。または、他に地域に見合うと思われる形態の移動サービス等のアイデアがありますか。理由等も含めてお教えてください。
部委員	<p>先ほど説明した3つの方式の1つのフルデマンド方式では、車両が必要になってくる、島ヶ原地域は過疎地域に指定されたため、軽車両の購入に過疎債が使えるかもしれない。島ヶ原地域は道が狭いので大きい車両は必要ない。</p> <p>デマンドをするのであれば、電話受付などのオペレーター問題が一番課題となる、この運用が一番大変、窓口をまちづくり協議会の事務局がやるのか、支所等がやるのかがこれからの課題。</p>
事務局	⑦市内の何れかの地域をモデルとして、先行的に「実証運行」を行う場合、お住いの地域で「取り組みたい」と思われますか。ご意向をお教えてください。
部委員	2年前から公共交通の改善に取り組んでおり、住民アンケートも実施している。既に案もあり、来年度の実証運行に是非、手をあげたい。
事務局	⑧お住いの地域をモデルとして実証運行を行うこととなった場合、PRや意見収集などで、地域主体でご協力をお願いできることのアアイデア等をお教えてください。
部委員	モデルで実証運行するとなれば、チラシだけでなく住民説明会などで住民へ説明することができる。お年寄りだけではなく若い方など地域住民全体に周知したい。
事務局	⑨現行のバス等と、今後の移動支援サービス等について、地域としてのお考え等があれば、お教えてください。
部委員	廃止代替バスは、西山までで良いと考えている。ほぼ島ヶ原からの利用者はいない。以前、中矢から高校生が乗っていたが時間がかかってたまらないと言っていた。三重交通の廃止代替バスを西山止めにして、余ったお金を私たちの提案に使ってほしい。
事務局	今ある行政バスを見直すとなった時に、オペレーターの問題が出てくる。例えば、電話受付や配車などの業務を島ヶ原まちづくり協議会でできる可能性はありますか。

部委員	それは、お金の問題だと思う。市の負担や利用料金などで採算が見込めるのであれば、まちづくり協議会でやるのは可能。
事務局	乗った人からお金を取った時点で、法律に則った運行しなければならない。地区で運行するとなると許可の手続きなど、様々な問題がでてくる。
部委員	私たちは、法律や許可については不勉強な部分があるので、市と協力しながら取り組んでいきたい。
事務局	⑩その他、ご意見等がありましたらお教え下さい。
部委員	シニアカーの利用者が多い。昔は、島ヶ原から三軒家等を通り上野までのバスが運行していたが、今は無くなっており、国道をシニアカーが通っており、危険である。シニアカーが安全に通行できる道路に整備するのが一番良いが難しいと思う。島ヶ原から上野までの運行ルートを検討する際には、三軒家等、長田地区からも同乗できるようなルートも考えられる。

#### 4. 報告事項

- ・ JR 関西本線について

事務局から資料2に基づき説明。

##### 【質疑応答】

部委員	柘植駅が、2・3年前に開設130周年か何かのイベントを実施した。月ヶ瀬や笠置と連携してイベントするなどJRを盛り上げてほしい。昔は、お座敷列車や伊勢神宮へ行く列車もあった、そういう企画も良い。関西線、島ヶ原駅130周年ぐらい？そういった歴史的な資料もほしい、130周年を契機に島ヶ原地域全体でイベントをするとか考えられる。
事務局	地域独自の取り組みを応援させていただく。

#### 5. その他

特になし

(終了)